

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

220号

★ 2020年1月30日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 国交省との院内集会行われる

1月末に実機での試験飛行を強行するという国交省との交渉が、1月27日参議国会館で行われました。もちろん納得できるような説明ができるはずもなく、交渉を続けている「羽田空港増便問題を考える会」および「増便に伴う飛行ルート変更抗議する国民一同」は以下のような抗議声明を出しました。

羽田声明文 20200127.pdf

ぜひ読んで下さい。問題点も整理されており、国民の怒りが伝わって来ると思います。

○ 国交省の説明会が終了しました

1/13・1/14(火)セブントウン小豆沢・1/15成増アクトホールでの説明会はいつもの展示。

○ 板橋区の都心低空飛行の講演会

1月12日(日)13時30分～16時「まなぼーと成増」2階ホール南で「板橋の空を考える対話集会」と銘打って、杉江弘さん(航空評論家 元日本航空機長)の講演がありました。

日航や全日空のパイロット達の情報も交えて、大変有意義な講演でした。岡本達思さんの司会で、参加者からも活発な質問がありました。企画・いたばしの空を守る会 主催・対話をすすめる市民有志ということでした。各区で政治色のない一般市民もこの問題に取り組んでいます。

こういう専門家の貴重な意見を、区長以下の職員や議員たちにぜひ聞いて貰いたいと思いました。彼らももっと勉強すれば、いかにひどい計画が納得するはずです。

○ 図書館が建つ前は？



中央図書館が建つ前、何があったかご存じですか？全部公園だった？もちろん常盤台が分譲された時から大公園として設定されていました。その他に小公園が二カ所の予定でした。そのひとつはしばらくテニスコートとして使われ、今は北口公園になっています。もう一カ所は何故か普通の住宅地となっています。

図書館が建つ前は、なんと小学校のプールがあったのです。今50歳前後の人はそのプールで泳いだのではないのでしょうか。常盤台小学校だけでなく、前野小学校や富士見小学校の生徒達も利用したように思います。

小学校の屋上にプールが出来るようになり、跡地に図書館が建ちました。その跡地に何が建つのが街のためになるか考えて、今度こそ住民が決定権を持ちたいと思います。

○ 常盤台ルート下(C滑走路着陸)の勉強会

1月12日の勉強会は成増ルート下(A滑走路着陸)の人が多く参加したのではないかと思います。杉江さんの講演を、常盤台ルート下(C滑走路着陸)の人達にもっと沢山聞いてほしいと、五十嵐やす子さん企画しています。

杉江弘氏(航空評論家 元日航機長)講演会
時 2月29日(土) 13時半～
所 グリーンカレッジ(志村三丁目)。
参加費 200円

常盤台からだ、バス1本(志村3丁目行き)で行けます。

プロムナードの街灯

折角の石井幹子さんからの要請にも拘わらず、工事事務所からすでに発注済みということ、クルドサックと駅前広場と小学校前の道路分岐点の一方を除いて、プロムナードには無粋な高速道路と同じような街灯が付くことになりました。この街が景観重点地区に指定されている意味がありませんでした。区には景観条例もあり、景観公共団体として登録されているのに……

色々理屈は付けられるでしょうけれど、現実には素敵な景観の度合いが後退することは確かなのに、それを避けることができなかったのは残念だと思います。

せめて残された箇所については、石井さんのような人にアイデアを頂いて、区のため、常盤台のためになるよう願います。

ときわ台駅北口のエレベーター

遅れていたエレベーター工事が始まっています。三月に出来上がる予定だそうです。

或る人はエレベーターのある上板橋駅までタクシーで行って東上線に乗っているとか。その苦労が三月でやっと無くなりそうです。

ときわ台駅の階段はゆるやかで、お年寄りに評判が良いのですが、階段さえも苦痛になってくると、どうしてもエレベーターかエスカレーターが無いとどこにも行けなくなってしまう。

高齢化が進んでいるのはどの町でも同じですが、健康で長寿な人が増えるのは、この国が平和なおかげです。生きている間に戦争が起きませんように！というのが多くの人の願いだとか。

図書館でアンケート調査

中央図書館でアンケートを取っているという情報を得ました。が、来館者の誰にでも渡しているのではなく、端の方に記入用一枚あるだけだったので、請求して一枚貰ってきました。なんだか人を選んで渡しているのかなと思ってしまうましたが、内容はごく普通の図書館利用についての調査でした。

跡地の利用について、区の方からも幾つか案が出ていますので、地元住民に対しての説明会を館長にお願いしてあります。

新型コロナウイルスによる肺炎

今はこの問題で新聞もテレビも大変な騒ぎです。街中でキャリアバッグを引いてマスクをしていたら大抵中国人だそうです。マスクが品切れというので日本から緊急提供するという動きが歓迎されています。こういう時こそ国家間の友好が作られるというものです。

おいらん道中でまちづくり?

先日、宇都宮でおいらん道中でまちづくりを進めようとしたニュースを見ました。いくら格式があるだの太夫だのと持ち上げてても、売春婦に違いはありません。どこの国が売春婦を見世物にして振興を図ったりするでしょうか。更に驚いたのは、全国からこの行列に参加した若い女性がいたことです。彼女らはおいらんの何たるかを知っていたのでしょうか。華やかな衣装への憧れで、無知を利用されただけでしょう。



常盤台公園のはなづくり

早くもチューリップの芽が出てきました。上に植えたビオラの苗を押しつけて、寒さにも負けずにです。ただこの間の大敵はネコなのです。広くて掘りやすい地面となれば格好のトイレ場所です。ネコがひっかく所にたまたま球根があつて大事な芽が傷つけられると、最悪の場合咲かなくなりそうです。そこでTさんがネコ対策で籠を伏せて防御しています。

北側斜面では環七方面から自転車スイセン泥棒が来て花を盗んでいきます。残念ですが一般のモラルは低いのです。

図書館の北側の隅にはビオトープと称して小さな池があります。お母さんと一緒に子どもたちが覗き込んでいるのは、赤い金魚の姿を探しているのです。

ここもTさんが、空からおそってくる鳥対策に網を張ってくれました。野良ネコやサギ類に捕られて数が減ってしまいい、今は一匹しかいないようです。

過去にはこの池には図書館の雨水が流れ込むようになっていますが、清掃した時の消毒液が入ってしまい、金魚たちが全滅したこともありました。

金魚には多難な環境かもしれませんが、子ども達は生き物が好きですし、植物にも動物にも多彩な生き物に触れることができる公園であってほしいですね。